

環境ユニバーシティ

岐阜大学の取り組み

2022



環境ユニバーシティへようこそ

国立大学法人東海国立大学機構として名古屋大学と法人統合し、2年がたちました。

2015年にパリ協定が採択され、日本は「2050年カーボンニュートラル達成」を目標とし、地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、カーボンニュートラルへの取り組みを進めています。

東海国立大学機構では、「カーボンニュートラル推進室」のもと、岐阜大学と名古屋大学の「知」を総動員して課題解決に取り組むとともに、広く社会と連携してカーボンニュートラルの達成に向けて取り組んでいきます。

岐阜大学としては、2021年11月に「脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター」を設置し、気候変動や自然資源の利活用、再生可能エネルギーに関わる研究、教育、普及の推進に必要とされる様々な学術分野の連携および大学と地域の連携を進めています。

研究に関しては、環境変動に対する適応を環境科学分野と応用分野の幅広い連携によって推進する「地域環境変動適応研究センター」、再生可能エネルギーの高効率化やカーボンリサイクルなどの技術開発により次世代エネルギーシステムの構築を目指す「地方創生エネルギーシステム研究センター」、並びに高山市郊外の森林生態系における大気CO₂濃度観測を行う「流域圏科学研究センター」等研究組織が最先端の研究を展開しています。また、岐阜の地の利を活かした研究の一つとして奥飛騨温泉郷の地熱の活用にも大きな可能性を感じています。

環境人材の育成に関しては、本学は2009年に「環境ユニバーシティ」を宣言し、全学でISO14001を認証取得していますが、その運用に不可欠となる内部環境監査に学生が監査員として自主的に参画しています。併せて、岐阜県と連携して運用する「次世代地域リーダー育成プログラム」に2021年より環境リーダーコースを新設し、自ら主体的に環境問題に取り組むことのできる人材を育成しています。

地域連携に関しては本学の強みであり、岐阜県と「岐阜県気候変動適応センター」、「野生動物管理推進センター」を共同で設置し研究、活動を行うとともに、地元企業と環境に関する連携協定を結ぶなど自治体や企業等と密接に連携し、知的成果を社会還元するべく尽力しています。

近年、eco検定アワード2021「エコユニット部門 大賞」(2021年)を受賞、ASSC(サステイナブルキャンパス評価システム)プラチナ認定(2022年)など本学の環境への取り組みが評価されるとともに、教職員と学生の協働による自然環境保護活動も注目を集めています。

みなさんには、一人一人が地球を愛し、地球も生きているという想いを持ってカーボンニュートラル、環境問題について一緒になって考えてほしいと思います。大学としても環境に関する教育・研究のさらなる充実を図り環境課題の解決に貢献して参ります。



岐阜大学長
最高環境責任者 吉田和弘



環境ユニバーシティ宣言をしています

本学は、岐阜大学環境方針に基づき、環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として2009年11月27日に「環境ユニバーシティ宣言」をしました。

岐阜大学環境方針

岐阜大学は、本学が掲げる理念を達成するとともに、「環境ユニバーシティ」としての取組みを継続発展させ、環境に配慮した大学環境を創り出すとともに、環境を担う優れた人材育成に努めます。

基本方針

1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2. 教育・研究活動の環境側面を常に認識し、環境影響を評価し、汚染の予防に努めます。
3. 省エネルギー、省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
4. 教育・研究に関わる順守義務の適合に努めます。
5. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
6. 教育・研究を通して、気候変動の緩和及び生物多様性の保護に寄与します。
7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、この環境方針を学内外に周知し、広く公開します。

2022年4月1日

岐阜大学長
最高環境責任者 吉田 和弘



初の東海国立大学機構「環境報告書」の発行

機構及び岐阜大学、名古屋大学の情報を統合し、初となる東海国立大学機構「環境報告書2021」を発行しました。当報告書では、機構長×副機構長、岐大生×名大生などの対談や研究に関するクロスインタビューなど新たな試みに多く挑戦しています。

岐阜大学HPでも公開していますので、是非ご覧ください。

URL:https://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/houkokusyo/houkoku_2021.pdf



環境ユニバーシティ

～環境への取り組みのあゆみ～



2003年 3月 地域科学部でISO14001認証取得

2006年 3月 環境対策室を設置
9月 岐阜大学環境方針を制定
9月 初の「環境報告書」発刊

2009年 7月 流域水環境リーダー育成プログラム開講
11月 **環境ユニバーシティ宣言**
FC岐阜エコプロジェクト植樹イベントでブランドに大気環境木を植樹
クリーンキャンパス開始

12月 ISO14001認証範囲を大学本部、図書館へ拡大

2010年 11月 「環境ユニバーシティフォーラム」開始

2011年 10月 学生によるISO14001内部環境監査の開始
12月 ISO14001認証範囲を教育学部、附属小中学校へ拡大

2012年 4月 十六銀行と「環境保全における連携に関する覚書」締結
7月 十六銀行連携「省エネ啓発ポスター」募集、表彰を開始
10月 「岐阜市環境活動顕彰」受賞
10月 十六銀行と連携した環境対策活動が「節電・発電大賞」受賞
12月 ISO14001認証範囲を医学系研究科・医学部、応用生物科学部へ拡大



2012.10 岐阜市環境活動顕彰受賞



2009.11 FC岐阜エコプロジェクト植樹イベント



2013.12 ISO14001登録証授与式



2015.06 岐阜早米プロジェクト

2013年 4月 全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」開講
12月 ISO14001認証範囲に工学部が加わり、全学（附属病院を除く）で認証取得

2014年 6月 岐阜大学ブランドのミネラルウォーター「のみやすい」発売開始

2015年 3月 FC岐阜と「環境保全における連携に関する覚書」締結
3月 「岐阜大学キャンパスマスタープラン2015」策定
3月 附属小中学校が「エコスクールコンテスト（岐阜市）」受賞
4月 次世代エネルギー研究センター設置
4月 地域減災研究センター設置
6月 FC岐阜連携「岐阜早米プロジェクト」開始
7月 十六銀行連携「エコがつながる種まきプロジェクト」開始



2017.08 環境コミュニケーション



2016.11 ISO修了証書授与開始

2016年 4月 医学部附属病院においてESCO事業運用開始
11月 ISO14001内部環境監査員養成研修修了証書授与開始



2020.01 「環境ユニバーシティ宣言」記念植樹

2017年 4月 「二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比40%以上削減」目標設定
8月 集中講義「環境、CSR（企業の社会的責任）とマネジメント」開講
8月 他大学との環境コミュニケーション「環境報告書の意見交換会」開始

2018年 7月 地方創生エネルギーシステム研究センター設置
11月 「eco-MASTER GRAND PRIX 2018 学生部門」入賞
11月 「eco検定アワード2018」エコユニット部門「奨励賞」受賞
11月 「サステイナブルキャンパス賞2018 奨励賞」受賞

2019年 2月 サステイナブルキャンパス評価システム（ASSC）におけるゴールド認定
7月 サークル「ESDクオリア」に「岐阜市制130周年特別感謝状」
11月 「eco検定アワード2019」エコユニット部門「優秀賞」受賞



2020.11 サステイナブルキャンパス賞2020受賞報告

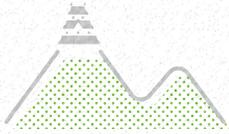
2020年 1月 「環境ユニバーシティ宣言」10周年の記念植樹
2月 第23回環境コミュニケーション大賞「環境配慮促進法特定事業者賞」受賞
3月 第29回地球環境大賞「文部科学大臣賞」受賞
4月 岐阜県気候変動適応センター設置
11月 「eco検定アワード2020」エコユニット部門「奨励賞」受賞
11月 環境サークル「G-gamet」が「サステイナブルキャンパス賞2020 学生活動部門」受賞

2021年 2月 第24回環境コミュニケーション大賞「環境配慮促進法特定事業者賞」受賞
4月 次世代地域リーダー育成プログラムに環境リーダーコース新設
11月 「eco検定アワード2021」エコユニット部門「大賞」受賞
11月 脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター設置



2021.11 eco検定アワード表彰式

2022年 1月 環境サークル「G-gamet」がASCN2021年次大会「金賞」受賞
3月 サステイナブルキャンパス評価システム（ASSC）におけるプラチナ認定
4月 「二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比51%以上削減」目標設定





環境に関する教育



次世代地域リーダー育成プログラム「環境リーダーコース」

地域協学センターが進める次世代地域リーダー育成プログラムに2021年度より「環境リーダーコース」が新設されました。岐阜の自然や環境学などを学ぶほか、企業や自治体と連携して地域社会における環境問題に対する取組を実践します。

様々な分野からみた環境問題を学ぶことを通して、次世代地域リーダーに必要な素養や能力を養うとともに、将来においても、自ら主体的に環境問題に取り組むことのできる人材を育成します。

環境リーダーコースにおいて選択必修科目となっている2科目を紹介します。



全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」(前学期・後学期)

講義では地球が抱えている環境問題の現状や、環境マネジメントシステムの枠組み、環境負荷の分析評価から効果的な環境経営の手法を学びます。市役所や企業の方をゲストスピーカーとしてお招きし、自治体や企業が取り組んでいる環境対策及びSDGsへの取り組みについて講義いただいたり、環境に配慮した設備の見学も実施しています。



岐阜市リサイクルセンターの見学

全学共通教育「環境、CSR(企業の社会的責任)とマネジメント」(集中講義)

現代社会において、生産活動を展開する企業は利益を追求するだけでなく、法律の遵守、環境への配慮、コミュニティへの貢献などが求められ、企業の社会的責任(CSR)が問われるようになりました。このことは、教育の現場である大学にとっても同様で、「教育・研究」「経済・財政」「環境・社会」の側面から「大学の社会的責任」(USR)が求められています。講義では「環境」の側面から、CSR、USRとマネジメントシステムについて事例を踏まえて理解することで、社会に出てからも様々な業務で学んだことを活かせるカリキュラムとなっています。



初年次セミナーにて環境講義を実施

環境マインドを持つ人材を育成するため、2021年度より新入生を対象とした初年次セミナーにおいて、環境配慮について学修する機会を設けることとし、環境講義を実施しています。講義では、環境問題を理解し、企業や大学に求められる社会的責任の知識を身につけるため、地球規模の「気候変動」をもたらす、自然環境や人の暮らしに大きな被害をもたらすと考えられている地球温暖化の仕組みの解説や本学の環境への取り組みを紹介しています。





環境マネジメントの取り組み



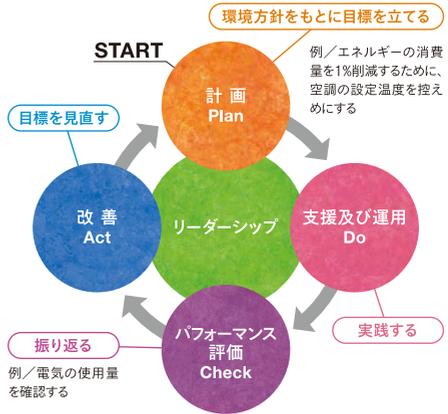
🌱 全学でISO14001:2015を認証取得しています! (附属病院を除く)

ISO14001の認証取得とは?

国際標準化機構 (ISO) が制定した、各組織 (企業、大学等) が「環境マネジメントシステム」を構築するための基準です。各組織の「環境マネジメントシステム」がその基準にそって構築され、運用されていることを第三者の審査機関によって認められると認証取得となります。

環境マネジメントシステムとは?

大学の教育・研究活動を進めることによって生じる環境への影響を少なくするために、環境目標を設定し、その目標達成に向けて、環境配慮活動に取り組み、評価し、改善していくPDCAサイクルを基本とし、環境パフォーマンスを向上させるためにスパイラルアップによる継続的改善を目指す仕組みです。



🌱 大学の活動におけるマテリアルバランス (2021年度)



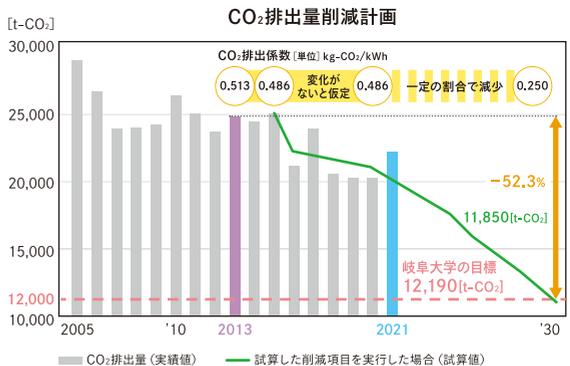
岐阜大学のエネルギーマネジメントの取り組み



目標 二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比 51%以上削減します!

「省エネアクト for ゼロカーボンキャンパス」のもとに目標達成に向けて取り組んでいます

- 夜間・休日の消費電力の低減 (帰宅時の電源OFFの徹底、24時間稼働機器の運転見直し等)
- 施設整備による省エネ (消費エネルギーの見える化、照明・空調設備の更新)
- 夏季・冬季における電力ピークの低減
- 学生の省エネ意識の向上





環境配慮活動



学生による内部環境監査



ISO14001について研修を受けた学生たちは、職員とともに、本学の環境マネジメントシステムの取り組みについて、学生の視点から監査を行います。

2021年11月、学長より内部環境監査員養成研修修了証書が23名に授与されました。

eco検定勉強会



「eco検定（環境社会検定試験）」とは、東京商工会議所が主催する、環境問題について幅広い基礎知識の習得を目指す検定です。環境問題に興味のある学生や教職員が集まり、勉強会を開催しています。2021年度は職員1名を含む18名が合格し、優秀な成績をおさめました。

環境報告書学生編集委員会



「環境報告書」の作成において、学生編集委員会を立ち上げ、学生による誌面づくりを行っています。環境に関する研究を行っている研究室でのインタビュー記事やサークル紹介記事を執筆し、他大学と互いの「環境報告書」についての意見交換会を行っています。

クリーンキャンパス



キャンパスの環境美化の取り組みの一環として、毎年2回（5月・11月）、全学で実施しています。また、キャンパス周辺のごみを拾う「大学周辺ゴミ0（ゼロ）活動」や特定外来生物「オオササモ」駆除も行っています。





チェックしてみよう!

チェック内容		チェック
エアコンの設定温度は控えめにしよう (室温の目安：夏28℃、冬19℃)		
照明の使用を必要最小限にしよう		
部屋を最後に離れるときは、エアコン・ 照明をOFFにしよう		
ごみは分別して、ごみ箱に捨てよう		
リ・リパック*の回収に協力しよう ※生協で扱っているリサイクル可能なお弁当容器		
実験に使用した薬品は「実験廃液等の分別 貯留ポスター」に従って、適切に廃棄しよう		

持続可能な開発目標

「SDGs (Sustainable Development Goals)」とは、
2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標です。
本学では目標の達成に向け積極的に取り組んでいます。

※関連する取り組みにアイコンを記載しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ISO14001の活動を一緒に行ってくれる学生を募集しています。

環境活動に興味のある人は、右のQRコードまたは
下記のお問い合わせ先にご連絡ください。



お問合せ先

岐阜大学環境対策室 (施設統括部環境安全課)

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 TEL : 058-293-2118 MAIL : iso_ems@gifu-u.ac.jp

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/>